

2 総務概要

(1) 消防予算の概要

【第1表】一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比 較	対前年度伸率(%)
一 般 会 計 予 算 (A)	627,883,000	609,161,000	18,722,000	3.1
消 防 予 算 (B)	13,216,677	11,758,724	1,457,953	12.4
(B) / (A) × 100 (%)	2.1	1.9		

【第2表】当初予算総額

(単位：千円)

科 目	令和6年度	令和5年度	比 較	対前年度伸率(%)	
12款1項	1目 消 防 職 員 費	9,762,817	9,312,959	449,858	4.8
	2目 常 備 消 防 費	831,856	836,038	▲ 4,182	▲ 0.5
	3目 非 常 備 消 防 費	400,983	407,444	▲ 6,461	▲ 1.6
	4目 消 防 施 設 費	2,221,021	1,202,283	1,018,738	84.7
合 計	13,216,677	11,758,724	1,457,953	12.4	

(注) 1 常備消防費とは消防署所にかかる消防費をいう
 2 非常備消防費とは消防団にかかる消防費をいう

【第3表】常備・非常備別予算

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比 較	対前年度伸率(%)
常備消防に要する経費	12,595,826	11,163,725	1,432,101	12.8
非常備消防に要する経費	620,851	594,999	25,852	4.3
消 防 費 計	13,216,677	11,758,724	1,457,953	12.4

【第4表】財源内訳

(単位：千円)

歳出予算額	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	一般財源
13,216,677	43,817	32,938	136,709	7,983	182,502	110,311	1,608,600	11,093,817

【第5表】令和6年度予算における消防局主要事業の概要

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	予算額
あらゆる災害に対応するための消防体制の整備		
① 消防体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	大規模災害への備えとして、救命胴衣、チェーンソー、化学防護服、泡消火剤等の資器材を整備する。 また、消防活動用ドローンの機能を最新のものとすることで、災害現場での情報収集能力を向上させ、効果的・効率的な災害現場活動を実施する。	43,364
② 消防職員の人材育成 ・能力向上 【2目 常備消防費】	消防職員に必要な資格を取得させるとともに、専門知識や技術の向上を図るなど、計画的な人材育成を図る。	24,545
③ 消防施設の整備 【4目 消防施設費】	消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進める。 また、第三者所有方式による省エネ機器の導入などにより、消防施設におけるカーボンニュートラルを推進する。 ◆消防局庁舎(改修工事) 他13施設	224,242
④ 消防車両等の整備 【4目 消防施設費】	消防活動に必要となる消防ポンプ自動車5台や、はしご付消防自動車1台など、計11台の車両を更新する。	1,096,009 (他に債務負担 398,900)
救急体制の強化		
⑤ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	「患者情報管理システム」を導入し、患者情報を早期に医療機関と共有することで救急搬送の迅速化を図る。 新たに救急車1台を増台し、加えて救急車6台を更新する。 また、救急救命士6人を養成する。	387,690
⑥ 救急活動の質の向上 【2目 常備消防費】	より多くの命を救うため、医療機関との緊密な連携により、医師による専門性の高い指導・助言を受けることで、救急活動の質の向上を図る。	7,096
⑦ 市民による応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進する。	856
火災予防対策の強化		
⑧ 火災予防対策の強化 【2目 常備消防費】	木造の市場・商店街が密集する地域の火災を防ぐため、地域ぐるみの防火訓練や「防火指導員」による映像を用いた啓発を行うとともに、住宅用火災警報器の設置や交換等を促進する。	8,925
⑨ 防火査察の強化 【2目 常備消防費】	木造の市場・商店街が密集する地域における火災予防対策の強化を図るため、防火指導及び違反是正の推進を図る。	21,296
地域における災害対応力の向上		
⑩ 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、防火服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図る。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図る。 ◆八幡東消防団第1分団本部建替え(平野二丁目)	361,516 (他に債務負担 27,500)
⑪ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行う。 ◆令和6年度の訪問予定数 2,304世帯	7,488
⑫ 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」への防災リーダー研修の実施や、地域で開催される防災訓練の支援を行う。	6,500
⑬ あんしん通報システムの運用 【2目 常備消防費】	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組む。	417

(2) 消防職員

ア 職員配置・年齢

【第6表】消防局配置表

(令和6年4月1日現在)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員						
		小 計	局長	部長		課長	係長	主査	主任	係員		小 計	局 長	部 長	課 長	係 長	係 員	
			消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士							
計	983	981	1	7	4	44	140	261	346	96	82	2	0	1	0	1	0	
局 長	1	1	1									0						
総務部	部 長	2	1		1							1		1				
	総 務 課	19	18				2	4	6	6		1				1		
	人 事 課	10	10				1	2	5	2		0						
	訓練研修センター	27	27				3	3	2	2		17	0					
予防部	部 長	1	1		1							0						
	予 防 課	10	10				1	3	4		2	0						
	指 導 課	13	13				1	3	4	5		0						
警防部	規 制 課	9	9				1	2	3	2	1	0						
	部 長	1	1		1							0						
	警 防 課	9	9				1	2	3	3		0						
救急部	消 防 団 課	6	6				1	2	2	1		0						
	消 防 航 空 隊	12	12				1	3	5	3		0						
	部 長	1	1			1						0						
消防局計	救 急 課	23	23				1	5	7	8	2	0						
	指 令 課	34	34				3	3	12	15	1	0						
	小 計	178	176	1	3	1	16	32	53	47	6	17	2	0	1	0	1	0
門 司	署 長	1	1			1						0						
	予 防 課	11	11				1	3	3	4		0						
	警 防 課	111	111				3	12	27	39	18	12	0					
小倉北	小 計	123	123	0	0	1	4	15	30	43	18	12	0	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0						
	予 防 課	13	13				1	3	3	6		0						
小倉南	警 防 課	144	144				3	18	42	60	9	12	0					
	小 計	158	158	0	1	0	4	21	45	66	9	12	0	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0						
若 松	予 防 課	12	12				1	3	4	4		0						
	警 防 課	108	108				3	15	27	44	7	12	0					
	小 計	121	121	0	1	0	4	18	31	48	7	12	0	0	0	0	0	0
八幡東	署 長	1	1		1							0						
	予 防 課	10	10				1	3	2	4		0						
	警 防 課	87	87				3	9	21	34	12	8	0					
八幡西	小 計	98	98	0	1	0	4	12	23	38	12	8	0	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0						
	予 防 課	11	11				1	3	2	5		0						
戸 畑	警 防 課	67	67				3	9	15	23	10	7	0					
	小 計	79	79	0	0	1	4	12	17	28	10	7	0	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0						
消防署計	予 防 課	15	15				1	3	5	6		0						
	警 防 課	141	141				3	18	42	47	21	10	0					
	小 計	157	157	0	1	0	4	21	47	53	21	10	0	0	0	0	0	0
消防署計	署 長	1	1		1							0						
	予 防 課	11	11				1	3	3	3	1	0						
	警 防 課	57	57				3	6	12	20	12	4	0					
小 計	69	69	0	0	1	4	9	15	23	13	4	0	0	0	0	0	0	
消防署計	805	805	0	4	3	28	108	208	299	90	65	0	0	0	0	0	0	

(注) 1 勤務形態別配置状況 交替制勤務職場：772人、毎日勤務職場：211人
 2 女性消防吏員：54人（昭和62年から採用開始）

【第7表】職員の年齢

(令和6年4月1日現在)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員				
		小計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	部長	課長	係長	係員
平均	40.9	40.9	58.0	58.7	54.8	54.9	50.3	45.2	39.3	27.8	23.0	53.5	58.0		49.0	
計	983	981	1	7	4	44	140	261	346	96	82	2	1	0	1	0
18歳～20歳	12	12									12	0				
21歳～25歳	72	72								8	64	0				
26歳～30歳	116	116							33	78	5	0				
31歳～35歳	135	135						9	115	10	1	0				
36歳～40歳	166	166					8	65	93			0				
41歳～45歳	113	113					23	61	29			0				
46歳～50歳	143	142				5	47	69	21			1			1	
51歳～55歳	107	107			3	18	29	35	22			0				
56歳以上	119	118	1	7	1	21	33	22	33			1	1			

イ 職員の任用・退職

【第8表】職員の任用・退職

(令和5年度)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員					
		消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	局長	部長	課長	係長	係員		
任用	小計	46	0	1	0	1	9	0	20	0	15	0	0	0	0	0	
	採用										15						
	試験採用	15															
	選考採用	0															
	再任用(短時間含む)	31		1		1	9		20								
	昇任																
	選考昇任	80		3	1	5	7	16	27	21							
出向	市長部局等へ転出	11					7	2		2							
	市長部局等から転入	11					7	2	1	1							
	休職	3					1		1		1						
	復職	2						1	1								
	計	29	1	1	0	2	4	4	12	1	4	0	0	0	0	0	
退職等	普通退職	19	1	1		1	2	4	5	1	4						
	定年退職	0															
	再任用退職	10				1	2		7								
	死亡・その他	0															

【第9表】消防士の採用試験（過去5年間）

区分	試験実施年度	受験者	合格者	最終合格率 単位：倍	翌年度の採用人員
初級職	令和元年度	173 (8)	7 (1)	24.7 (8.0)	7 (1)
	令和2年度	108 (13)	8 (2)	13.5 (6.5)	8 (2)
	令和3年度	133 (7)	8 (1)	16.6 (7.0)	8 (1)
	令和4年度	75 (5)	5 (0)	15.0 (-)	5 (0)
	令和5年度	86 (5)	8 (1)	10.8 (5)	6 (1)
上級職	令和元年度	136 (3)	14 (0)	9.7 (-)	14 (0)
	令和2年度	132 (8)	13 (1)	10.2 (8.0)	13 (1)
	令和3年度	115 (1)	11 (0)	10.5 (-)	10 (0)
	令和4年度	116 (7)	10 (2)	11.6 (3.5)	10 (2)
	令和5年度	92 (5)	11 (1)	8.4 (5)	10 (0)

- (注) 1 () は女性消防士で内数
 2 回転翼航空機操縦士及び整備士は除く
 3 消防士（航海・機関）区分は除く

ウ 職員の派遣・訓練研修

【第10表】職員の派遣先

(令和6年4月1日現在)

福岡県消防学校	1人	北九州市	小倉北区役所コミュニティ支援課	1人	
一般財団法人救急振興財団	5人		小倉南区役所コミュニティ支援課	2人	
福岡管区気象台予報課	1人		若松区役所総務企画課	1人	
政策研究大学院大学防災・危機管理コース	1人		若松区役所コミュニティ支援課	1人	
総務省消防庁防災情報室	1人		八幡東区役所総務企画課	1人	
北九州市	危機管理室危機管理課		9人	八幡東区役所コミュニティ支援課	1人
	政策局政策部政策課		2人	八幡西区役所総務企画課	3人
	門司区役所		1人	戸畑区役所総務企画課	1人
	門司区役所総務企画課		1人	戸畑区役所コミュニティ支援課	1人
	門司区役所コミュニティ支援課		1人		
小倉北区役所総務企画課	2人				

【第11表】訓練研修・資格取得・派遣状況

(ア) 基本研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新規採用職員研修	R5.4.3~R5.4.4 R5.9.20~R5.10.31	訓練研修センター	15人	総務部訓練研修センター
2	消防士・消防副士長（採用2~5年次）研修	R5.8.17~R5.8.18 R5.8.24~R5.8.25 R5.9.1	訓練研修センター	82人	〃
3	消防士長研修	R5.7.19~R5.7.21 R5.7.26~R5.7.28	訓練研修センター	34人	〃
4	消防司令補昇任候補者研修	R5.12.11~R5.12.15	訓練研修センター	13人	〃
5	消防司令昇任候補者研修	R6.3.11~R6.3.15	訓練研修センター	7人	〃
6	消防司令及び管理者研修	R5.11.10	訓練研修センター	81人	〃
7	女性活躍推進研修	R5.7.7	訓練研修センター	57人	〃

(イ) 専門研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	火災調査課程	R5.8.3~R5.8.4 R5.11.15~R5.11.17	訓練研修センター	24人	予防部予防課
2	予防技術課程	R5.5.22~R5.6.9	訓練研修センター	10人	予防部指導課
3	消防機関員課程	R5.6.30 R6.1.29~R6.1.31	訓練研修センター	20人	警防部警防課
4	救助課程	R5.6.19~R5.6.22 R5.12.4~R5.12.8 R6.1.10~R6.1.15	訓練研修センター	13人	〃

(ウ) 特別研修(派遣研修)

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	第139回初任教育	R5.4.5～R5.9.20	福岡県消防学校	15人	総務部訓練研修センター
2	第16回初級幹部科(A)	R5.11.27～R5.12.1	福岡県消防学校	2人	〃
3	第52回初級幹部科(B)	R5.10.11～R5.10.24	福岡県消防学校	2人	〃
4	第40回救急科	R6.1.10～R6.2.28	福岡県消防学校	14人	〃
5	救助科(87期)	R5.8.30～R5.10.19 (eラーニング期間 R5.7.10～R5.8.23)	消防大学校	1人	〃
6	NBCコース(第13回)	R5.9.7～R5.9.28 (eラーニング期間 R5.7.18～R5.8.31)	消防大学校	1人	〃
7	女性活躍推進コース (第8回)	R5.12.14～R5.12.22 (eラーニング期間 R5.10.24～R5.12.7)	消防大学校	1人	〃
8	石けん系泡消火剤に関する研修	R6.2.1	(We b配信)		総務部総務課
9	九州地区警防実務研修会	R5.12.4～R5.12.15	福岡市消防学校	1人	総務部訓練研修センター
10	九州地区大規模災害対応実務研修会	R6.3.4～R5.3.8	福岡市消防学校	1人	〃
11	火災調査研修(短期コース)	R5.9.25～R5.10.6	大阪市消防局	1人	予防部予防課
12	九州地区予防実務研修会	R6.1.15～R6.1.26	福岡市消防学校	1人	予防部指導課
13	危険物事故事例セミナー	R6.2.16	科学技術館(東京都)	1人	予防部規制課
14	石油コンビナート事務担当者研修会	R6.3.4～R6.3.8 (配信期間)	(We b配信)	1人	〃
15	危険物等事故防止ブロック連絡会議 (危険物事故防止講習会)	R5.11.16	かごしま県民交流センター	1人	〃
16	企業防災対策指導研修会	R6.2.1～R6.2.29	(We b配信)	1人	〃
17	第38回危険物保安技術講習会	R5.8.14～R5.9.29	(We b配信)	1人	〃
18	火薬類取締法研修	R5.7.5～R5.7.7	経済産業研修所(東村山)	1人	〃
19	高圧ガス保安法研修	R5.7.31～R5.8.4	経済産業研修所(東村山)	1人	〃
20	行政機関向け高圧ガス保安法令等研修会	R5.9.1～R5.9.30(配信期間)	(We b配信)	1人	〃
21	液石法研修	R6.1.15～R6.1.18	経済産業研修所(東村山)	1人	〃
22	第26回全国消防救助シンポジウム	R5.12.14	銀座プロッサム中央会館(東京都)	1人	警防部警防課
23	令和5年度国際消防救助隊セミナー	R6.2.19～R6.2.21	全国市町村国際文化研修所	1人	〃
24	ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練	R6.3.8	日本サバイバルトレーニングセンター	3人	警防部消防航空隊
25	飛行訓練装置による計器飛行訓練	R5.9.25～R5.9.27	東京都	1人	〃
26	救急救命士病院実習(再研修・3日勤)	R5.5.31～R5.12.15	市内10病院	8人	救急部救急課
27	救急救命士病院実習 (再研修・1日勤1当務)	R5.5.31～R5.12.15	市内10病院	101人	〃
28	救急救命士病院実習(就業前)	R5.5.1～R5.7.1	市立八幡病院	6人	〃
29	救急救命士気管挿管病院実習	R5.8.7～R5.11.22	新小文字病院 産医大病院	6人	〃
30	第41回福岡救急医学会	R5.9.16	電気ビル共創館(福岡市)	8人	〃
31	第32回全国救急隊員シンポジウム	R6.2.1～R6.2.2	名古屋国際会議場	8人	〃
32	事後検証委員会(全5回)	R5.7.27 R5.9.26 R5.11.14 R6.1.16 R6.3.19	消防局3階警防本部室他	計178人	〃

(エ) 特別研修（資格取得）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	整備管理者選任前研修	R5.7.4	福岡市	2人	総務部総務課
2	第三級陸上特殊無線技士資格取得研修	R5.10.6	訓練研修センター	15人	〃
3	大型自動車運転免許資格取得	R5.9.1～R6.3.31	市内自動車学校	11人	総務部人事課
4	第一種衛生管理者資格取得	R5.9.6～R5.10.5	小倉北区 久留米市	3人	〃
5	有機溶剤作業主任者技能講習	R6.2.21～R6.2.22	小倉北区	1人	予防部予防課
6	特定化学物質及び四アルキル鉛等 作業主任者技能講習	R6.2.5～R6.2.6	小倉北区	1人	〃
7	エックス線作業主任者	R5.9.12	久留米市	1人	〃
8	二級小型船舶操縦士資格	R5.8.8 R5.8.13 R5.8.22	門司区	4人	警防部警防課
9	潜水士資格取得	R5.6.23 R5.9.26 R6.2.9	九州安全技術センター 思永中学校温水プール	6人	〃
10	玉掛技能講習	R5.10.24～R5.10.26	戸畑区	4人	〃
11	小型移動式クレーン運転技能講習	R5.11.13～R5.11.15	戸畑区	4人	〃
12	フォークリフト技能講習	R5.11.27～R5.11.30	戸畑区	1人	〃
13	救急救命士養成課程	R5.9.1～R6.3.11	九州研修所	6人	救急部救急課
14	救急救命士処置拡大追加講習	R6.3.6～R6.3.8	消防局	6人	〃
15	航空特殊無線技士資格	R5.12.6～R5.12.8	大阪市	1人	救急部指令課

(オ) 特別研修（各種研修）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	第47回北九州市消防職員意見発表会	R6.1.26	訓練研修センター	100人	総務部訓練研修センター
2	はしご自動車等操作員研修	R5.11.28～R5.11.30	訓練研修センター	21人	〃
3	違反処理研修	R5.8.2～R5.8.4	消防局	7人	〃
4	消防活動用設備研修	R5.10.20	リバーウォーク北九州	20人	〃
5	予防技術資格者等再講習	R6.2.2	訓練研修センター	30人	〃
6	火災調査発表会	R6.3.1	訓練研修センター	各消防署	予防部予防課
7	指定調査員会議	R5.6.16 R5.6.23 R5.6.30	訓練研修センター	46人	〃
8	救助事例研究会	R6.1.19	訓練研修センター	各消防署	警防部警防課
9	防災基本研修	R5.6.2	消防局3階警防本部室	23人	〃
10	防災研修	R5.12.15	訓練研修センター	50人	〃
11	特殊災害対応研修	R6.1.19	訓練研修センター	70人	〃
12	救急救命士研修課程に係る派遣 候補者選考試験	R5.7.14	訓練研修センター	22人	救急部救急課
13	学卒救命士キャリア形成プログラム 【第1段階】	R5.6.1～R5.7.31 R5.10.1～R5.12.15	消防局	5人	〃
14	学卒救命士キャリア形成プログラム 【第2段階】	R5.9.1～R5.9.30 R6.2.1～R6.2.29	市立八幡病院	4人	〃
15	学卒救命士キャリア形成プログラム 【第3段階】	R5.4.1～R5.8.31 R5.11.10～R6.2.29	消防局	4人	〃
16	学卒救命士確認試験	R5.5.12	消防局	3人	〃
17	指令課研修	R5.6.7～R5.7.8	各消防署	消防局 各消防署	救急部指令課

(カ) 特別研修 (各種訓練)

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新任大隊長研修	R5.5.12 R5.5.19 R5.6.16	訓練研修センター	4人	総務部訓練研修センター
2	実火災体験型訓練	R5.5.26 R5.6.2 R5.6.9	〃	34人	〃
3	訓練指導小隊調整会議	R5.4.21	〃	21人	〃
4	前期警防技術錬成会	R5.7.12~R5.7.14	〃	21隊	〃
5	後期警防技術錬成会	R5.11.12	〃	署7隊 団7隊	〃
6	消防活動実戦訓練	R5.8.17~R5.9.27	訓練研修センター	署165隊 団63隊	総務部訓練研修センター
7	第1回方面訓練	R5.4.25~R5.6.1	訓練研修センター 各消防署	126隊	東西方面本部
8	第2回方面訓練	R6.1.13~R6.2.15	小倉北消防署 八幡西消防署	126隊	東西方面本部
9	水難救助連携訓練	R5.10.13	若松区大字安屋 脇田海水浴場の周辺海域	7隊	警防部警防課
10	風水害等防災シミュレーション訓練	R5.5.15~R5.6.7	消防局 各消防署 各区役所	消防局 各消防署 各区役所	〃
11	第21回九州地区国際消防救助隊合同訓練	R5.11.25~R5.11.27	訓練研修センター	105人	〃
12	集団救急救助訓練	R5.10.20	訓練研修センター	23隊	〃
13	国際消防救助隊派遣シミュレーション訓練	R5.6.8~R5.6.9 R5.7.4	消防局 各消防署	消防局 各消防署	〃
14	令和5年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練	R5.11.25~R5.11.26	飯塚市、田川市他	42人	〃
15	航空活動連携指定救助隊訓練	R5.4.7~R5.4.28	航空隊基地 響灘訓練場、水晶山	4隊	警防部消防航空隊
16	離島救急連携訓練	R5.5.11	藍島 馬島 (中止)	17人	〃
17	連携救急隊訓練	R5.6.23 R5.7.7 R6.1.26	航空隊基地 響灘訓練場	15人	〃
18	水難救助救出訓練	R5.5.12	昭和池	16人	〃
19	救急隊員集合訓練 (第1期)	R5.5.12 R5.5.19 R5.5.26	訓練研修センター	23隊	救急部救急課
20	救急隊員集合訓練 (第2期)	R5.8.18 R5.8.25 R5.9.1	訓練研修センター	23隊	〃
21	救急隊員集合訓練 (第3期)	R6.2.9 R6.2.16 R6.3.15	訓練研修センター	23隊	〃
22	119番分散受信訓練 (計21回)	R5.6.7~R5.7.8	消防局指令課及び各消防署	消防局 各消防署	救急部指令課

(キ) 特別研修 (国際交流)

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	JICA研修「消防・防災」	R5.9.20~R5.11.17	訓練研修センター他	講師:30人 補助講師:28人	総務部訓練研修センター

(3) 職員等の表彰・市民表彰

【第12表】職員・市民表彰

(令和5年度)

区分	計	国			消防長官			知事			市長			消防長			消防署長・部長			全国消防長会会長					全国消防協会会長			
		叙位	叙勲	特別叙勲	功章	永年勤続功章	国際協力功章	永年勤続功章	人命救助功章	防火思想普及等	市民表彰	永年勤続功勞(30年)	永年勤続功勞(20年)	功績表彰	特別功勞	功績表彰	善行表彰	協力表彰	賞詞	功績表彰	善行表彰	協力表彰	永年勤続(40年)	永年勤続(35年)	永年勤続(30年)	永年勤続(25年)	永年勤続(20年)	全国優良消防職員
市民表彰	小計	29	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
	人員	28								4							15				9							
	団体数	1																			1							
職員表彰		144		11		2	4		23			40	23	2						13						24		2

(注) 職員表彰の叙勲数については消防局退職者とする

(4) 職場環境・衛生

ア 消防職員委員会

【第13表】消防職員委員会意見提出状況（過去5年間）

区 分	計		意 見 区 分						審議対象外	
			勤務条件		被服・装備		機械・設備			
	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数
令和元年度	45	16	37	11	2	2	5	2	1	1
令和2年度	18	10	16	9	2	1	0	0	0	0
令和3年度	12	11	9	8	3	3	0	0	0	0
令和4年度	3	3	1	1	0	0	2	2	0	0
令和5年度	10	10	3	3	1	1	1	1	5	5

(令和5年度意見提出状況)

- ・北九州市消防局が保有する放射線測定器の定期的な点検及び校正について
- ・軽作業服の色について
- ・指導、規制業務に関する電子化体制の強化について
- ・各種休業制度を取得しやすい職場環境の整備について
- ・交替制勤務に従事する職員の出勤簿及び勤務日誌、時間外等のデジタル化について

イ 職場安全衛生

(ア) 健康管理

全職員を対象に、疾病の早期発見や感染防止を目的として、健康診断や予防接種を行っています。

a 健康診断

特定業務従事者健康診断、特殊健康診断（高気圧、石綿取扱い業務等従事者）
消防艇乗務員健康診断、航空身体検査

b 予防接種

破傷風予防接種、B型肝炎予防接種、救急隊員を対象とした各種ワクチン接種

(イ) 公務災害

【第14表】職員の公務災害発生状況

(令和5年度認定請求分)

区 分		計	公務災害					通勤災害
			災害現場	警防訓練	救助技術 大会訓練	通勤途上	その他	
計		5	1	1	0	0	2	1
負 傷 状 況	休業 3 週 間 未 満	挫 創 傷	1				1	
		打 撲 傷	0					
		捻 挫	0					
		火 傷	0					
		骨折(脱臼)	0					
		ガ ス 中 毒	0					
		そ の 他	2	1	1			
負 傷 状 況	休業 (死亡含む) 3 週 間 以 上	挫 創 傷	0					
		打 撲 傷	0					
		捻 挫	0					
		火 傷	0					
		骨折(脱臼)	2				1	1
		ガ ス 中 毒	0					
		そ の 他	0					

(注) 認定請求中のものを含む

(5) 消防機械・施設の概要

ア 消防車両等の整備

【第15表】消防車両等の整備状況

(令和5年度)

車 種	台 数	内 容
救 助 工 作 車	3	更 新
30メートル級はしご付消防自動車	1	更 新
救 急 自 動 車	4	更 新
指 揮 車	1	更 新
防 災 指 導 車	2	更 新
査 察 車 (普 通 車)	1	更 新
査 察 車 (軽 自 動 車)	2	更 新

【第16表】消防車両等の配置

(令和6年4月1日現在)

区分	計	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防自動車	ポンプ自動車	は消防自動車			屈折はしこ付消防自動車(ポンプ付)	救助工作車	水難救助工作車	特別高度工作車	特殊災害対応自動車	多目的対応車		高発泡照明車	後方支援車	指揮車	司令車	原調査車	原因車	普通自動車	軽自動車	輸送車	資材搬送車	高規格救急自動車	消防艇	回転翼航空機	起震車	監察車	指揮車	防炎指揮車	救急指導車	電源供給車	燃料補給車	けん引車	フォークリフト				
						大型高所放水車	15m級	30m級						40m級	林野火災用																							集団救急災害用			
計	205	25	21	5	1	1	2	4	1	1	7	2	1	1	2	1	1	18	8	1	9	36	5	2	1	28	1	1	1	1	1	1	1	9	1	1	1	1	1	2	
消防局	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	1	2	7	0	0	0	2	0	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	0	2	
門司消防署	26	4	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	4	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
本署	13	1	1				1									1		1	1		1	3			2								1								
老松分署	8	1	1	1						1									1			1	1		1																
松ヶ江分署	3	1	1																						1																
門司西分署	2	1	1																																						
小倉北消防署	34	5	3	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	6	1	0	0	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
本署	18	2	2			1											2	1		1	5			3									1								
浅野分署	9	1	1				1			1											1	1		1	1															1	
井堀分署	4	1									1	1													1																
富野分署	3	1																							1																
小倉南消防署	24	4	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	4	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	15	1	2				1							1			2	1		1	4			2																	
三谷分署	2	1																							1																
新曾根分署	3	1								1														1																	
臨空分署	4	1	1	1																				1																	
若松消防署	21	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	14	1	2	1			1										1	1		1	3	1		2																	
石峯分署	3	1								1														1																	
ひびきの分署	4	1									1														1										1						
八幡東消防署	20	4	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	14	2	1						1							1	1	1		1	4	1													1						
枝光分署	3	1	1	1																																					
高見分署	3	1								1															1																
八幡西消防署	31	4	5	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	6	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	18	1	2	1										1			2	1		1	6		1	2		1	2														
折尾分署	4	1	1				1																		1																
黒崎分署	3	1					1																		1																
上津役分署	3	1								1															1																
金剛分署	3	1	1																						1																
戸畑消防署	15	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
本署	13	1	1		1	1												1	1		1	2	1		1	1										1					
大谷分署	2	1								1																															

(注) 救助工作車はポンプ付き(小倉北消防署富野分署及び八幡西消防署上津役分署に配置のⅢ型救助工作車を除く)

イ 消防庁舎の整備

【第17表】消防庁舎の現況

(令和6年4月1日現在)

区 分	敷 地		構 造	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年月日
	面 積 (㎡)	所 有				
消 防 局	2,108.96	市有地	鉄骨鉄筋コンクリート造 6階	1,080.24	4,791.11	H14. 2.15
門 司 消 防 署	1,531.34	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	1,031.97	2,446.94	H31. 1.22
老 松 分 署	3,183.69	〃	鉄筋コンクリート造 2階	664.74	1,036.27	H 6. 3.10
松 ケ 江 分 署	1,200.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	548.02	756.27	H 7.12.25
門 司 西 分 署	268.22	〃	鉄筋コンクリート造 2階	135.20	211.15	S47. 2.18
小 倉 北 消 防 署	3,456.11	市有地	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 3階	1,577.65	2,998.11	H26. 1.25
浅 野 分 署	2,510.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	639.26	1,158.31	H16. 1.30
井 堀 分 署	856.21	〃	鉄筋コンクリート造 2階	425.93	672.40	H10. 3.20
富 野 分 署	938.57	〃	鉄筋コンクリート造 2階	349.32	570.03	H15. 3.24
小 倉 南 消 防 署	1,570.00	市有地	鉄筋コンクリート造 2階	843.30	1,483.39	S49. 3.16
三 谷 分 署	747.12	〃	鉄筋コンクリート造 2階	241.81	340.32	S46. 3.25
新 曾 根 分 署	1,199.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	389.98	585.86	H19. 3.24
臨 空 分 署	1,644.67	〃	鉄筋コンクリート造 2階	421.93	700.59	H18. 2.10
若 松 消 防 署	3,464.77	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	919.81	2,330.86	H11.11.30
石 峯 分 署	847.16	〃	鉄筋コンクリート造 2階	387.79	710.52	R 3. 2.26
ひ び き の 分 署	1,330.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	544.83	718.16	H30. 6. 7
八 幡 東 消 防 署	4,075.23	市有地	鉄筋コンクリート造 4階	1,398.14	2,565.32	H28. 3.24
枝 光 分 署	1,537.96	〃	鉄筋コンクリート造 2階	396.93	549.19	H13. 3.31
高 見 分 署	1,593.86	〃	鉄筋コンクリート造 2階	361.71	687.09	H16.12.21
	(高見市民センター含む)					
八 幡 西 消 防 署	3,500.74	市有地	鉄筋コンクリート造 4階	1,718.21	3,160.71	R 2. 1. 7
折 尾 分 署	1,468.35	〃	鉄筋コンクリート造 2階	422.80	687.93	H10. 3.18
黒 崎 分 署	1,295.84	〃	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 2階	532.05	683.54	S62.10.31
上 津 役 分 署	1,032.02	〃	鉄筋コンクリート造 2階	415.58	643.67	H11. 3.20
金 剛 分 署	3,705.19	〃	鉄筋コンクリート造 2階	531.38	672.01	R 3. 3. 8
戸 畑 消 防 署	2,899.84	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	1,083.14	2,425.70	H19.11. 9
大 谷 分 署	399.36	〃	鉄筋コンクリート造 2階	135.61	260.44	S38. 1.26
市 民 防 災 セ ン タ ー (消防訓練研修センター)	19,930.91	市有地				
本 館			鉄筋コンクリート造 2階	429.64	861.64	S57. 3.26
別 館			鉄筋コンクリート造 3階	1,244.00	1,886.24	H 4. 2.29
車 庫			鉄骨造 1階	103.50	103.50	S57. 3.26
倉 庫			補強コンクリートブロック造 1階	80.09	80.09	S60. 3.30
耐 熱 耐 煙 訓 練 棟			鉄筋コンクリート造 2階	245.21	493.64	S62. 3.27
主 塔			鉄骨鉄筋コンクリート造 11階	125.58	478.41	S51. 3.31
副 塔			鉄筋コンクリート造 7階	36.32	168.50	〃
消 防 科 学 研 究 所			鉄筋コンクリート造 2階	121.80	201.80	H 2. 3.20
救 急 実 技 研 修 棟			軽量鉄骨造 2階	236.40	440.40	H 7.12.25
消 防 航 空 隊	3,087.36	国有地	鉄筋コンクリート造 2階	1,066.91	1,366.82	H18. 2.23
救 急 ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン	445.18	市有地	鉄骨造 2階	222.28	321.63	H31. 1.21
石 油 コ ン ビ ナ ー ト 防 災 資 機 材 東 部 備 蓄 セ ン タ ー	浅野分署敷地内	市有地	鉄骨造 1階	149.70	149.70	H16. 1.30
市 民 防 災 資 機 材 倉 庫	〃	〃	鉄筋コンクリート造 2階	201.93	386.12	H15. 1.22
石 油 コ ン ビ ナ ー ト 防 災 資 機 材 西 部 備 蓄 セ ン タ ー	八幡西消防署敷地内	市有地	八幡西消防署に含む			
防 災 資 機 材 黒 崎 備 蓄 倉 庫 (八幡西区)	466.59	市有地	鉄筋コンクリート造 2階	168.41	271.91	S44. 3.29
林 野 火 災 消 火 資 機 材 備 蓄 倉 庫 (小倉南区)	115.72	市有地	補強コンクリートブロック造 1階	42.12	42.12	S53. 9. 2
北 湊 倉 庫 (若松区)	583.14	市有地	木造 1階	84.35	84.35	S58. 3.14
林 野 火 災 消 火 資 機 材 備 蓄 倉 庫	八幡西消防署敷地内	市有地	八幡西消防署に含む			
石 峰 山 無 線 中 継 所 (若松区)	産業経済局敷地内	市有地	コンクリートブロック造 1階	40.54	40.54	S58. 3.31
母 原 無 線 中 継 所 (小倉南区)	産業経済局敷地内	〃	鉄筋コンクリート造 1階	59.40	59.40	H 8. 3.31
		〃	コンクリートブロック造 1階	40.34	40.34	S59. 3.31

(注) 八幡東消防署高見分署は、市民センター・学童保育クラブとの合同庁舎

(6) 市民防災センター

市民防災センターは、講習会等を通じて市民や各種防災団体に正しい防災知識を習得してもらい“自分たちの家庭やまちや職場は自分たちで守る”という自主防災意識の醸成を目的として、昭和57年4月に開設しました。

以来、消防職員・消防団員の消防訓練場としての機能も果たすべく、昭和62年3月に高温多湿下の環境となる火災現場を再現できる訓練施設として耐熱耐煙訓練棟を建設、平成4年2月には、屋内訓練場や大研修室を備えた別館を建設、平成7年12月には、救急訓練や救命講習のための救急実技研修棟を建設し、雨天時の訓練や多人数の研修、講習会等に活用しています。

【第18表】市民防災センター利用状況

区 分	<直近10年間>		
	消防職員・団員	市 民	合 計
平成26年中	10,754	5,123	15,877
平成27年中	10,780	5,026	15,806
平成28年中	15,181	7,179	22,360
平成29年中	16,836	7,171	24,007
平成30年中	11,780	5,445	17,225
令和元年中	16,192	6,049	22,241
令和2年中	5,740	2,992	8,732
令和3年中	8,423	3,789	12,212
令和4年中	11,268	3,579	14,847
令和5年中	10,646	4,581	15,227



(7) 国際協力・技術協力の推進

国際協力・交流事業として独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じ、海外の消防関係者を受け入れる多様な事業を実施しています。

【第19表】 J I C A研修「消防・防災」国別研修参加実績表

国名等	1988~17	2018	2019	2020	2021	2022	2023	計	国名等	1988~17	2018	2019	2020	2021	2022	2023	計	
大韓民国	1							1	ブラジル	7						1	1	9
中華人民共和国	9							9	アルゼンチン	3								3
インドネシア	2							2	コロンビア	1								1
マレーシア	8							8	チリ	2								2
ミャンマー連邦	14	1	1					16	ドミニカ	3								3
ネパール	4							4	ジャマイカ	5		1						6
パキスタン	3							3	パラグアイ	4								4
フィリピン	10							10	ウルグアイ	9								9
スリランカ	5							5	トリニダード・トバゴ	1								1
タイ	2							2	ペルー	2								2
ブルネイ	1							1	ベリーズ	2								2
(香港)	4							4	コスタリカ	2								2
モルディブ	4		2					6	グアテマラ	2								2
インド	2						1	3	スリナム	2								2
ブータン	4	1						5	ガイアナ	3								3
東ティモール	1							1	エクアドル	1								1
バングラデシュ	5					1	1	7	セントビンセント	2								2
モンゴル	1							1	パナマ	1								1
ベトナム	1	1	1				1	4	セントクリストファー・ネーヴィス	2								2
ジョージア			1			1	1	3	セントルシア	1								1
カンボジア							1	1	ホンジュラス	2								2
小計 21	81	3	5	0	0	2	5	96	アンティグア・バーブーダ	2								2
ヨルダン	4							4	小計 22	59	0	1	0	0	1	1	62	
トルコ	3							3	バプアニューギニア	8						1		9
アラブ首長国連邦	1							1	マーシャル諸島	1								1
クウェート	2							2	ミクロネシア	2								2
シリア	3							3	ソロモン諸島	3								3
レバノン	2							2	サモア	4	1	1					1	7
パレスチナ	1					3	1	5	トンガ	9	1							10
イラク	1	1						2	フィジー	20	1	2						23
イラン	2		1					3	キリバス	2								2
小計 9	19	1	1	0	0	3	1	25	バヌアツ	2								2
エジプト	4							4	ニウエ	4								4
ベナン	1							1	クック諸島	2								2
ケニア	5							5	ツバル	2								2
セネガル	5							5	パラオ	1								1
レソト	1							1	小計 13	60	3	3	0	0	1	1	68	
セーシェル	2							2	アルメニア	4								4
ウガンダ	1							1	ブルガリア	3								3
ザンビア	3							3	マルタ	1								1
チュニジア	2							2	エストニア	1								1
ジンバブエ	4							4	コソヴォ							1		1
ジブチ	1						1	2	小計 5	9	0	0	0	0	1	0	10	
マダガスカル	3							3	合計 (87カ国)	265	8	10	0	0	9	9	301	
エスワティニ	1							1										
タンザニア	3							3										
アルジェリア	1							1										
ガーナ		1						1										
ソマリア							1	1										
小計 17	37	1	0	0	0	1	1	40										

(注) 1 2013年以前は「消火技術」コース
 2 国名等のエスワティニは、研修員受け入れ時はスワジランドである。
 3 2020年及び2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(8) 消防音楽隊

昭和38年2月、北九州市の誕生と同時に編成されました。音楽隊の演奏とカラーガード隊(平成4年9月発足)の演技を通じて、消防の広報に努めるとともに、市主催の式典やスポーツ・文化の祭典、国際的な行事などにも積極的に出演し、北九州市のPRに広く貢献しています。

平成14年度からは、市内の学校に出向く「消防“夢”コンサート」を、平成16年度からは水曜日のお昼の時間に「水曜コンサート」を実施しています。

【第20表】消防音楽隊の編成

(令和6年4月1日現在)

隊	副 隊長	楽 長	副 楽 長	イン ス ペ ク タ ー	音 楽 隊 (楽 器 別 等)													カ ラ ー ガ ー ド 隊	事 務	総 数	
					ピ ッ コ ロ	フ ル ト	ク ラ リ ネ ッ ト	バ ス ク ラ リ ネ ッ ト	オ ー ボ エ	フ ァ ゴ ッ ト	サ キ ソ フ ォ ン	ト ラ ン ベ ッ ト	ホ ル ン	ト ロ ン ボ ー ン	ユ ー フ ォ ニ ア ム	テ ユ ー バ	エ レ キ ベ ー ス				パ ー カ ッ シ ョ ン
1	②	1 (1)	①	②	①	2 (2)	8 (6)	①	1 (1)	1	6 (3)	6 (3)	4 (3)	4 (2)	2 (1)	2 (1)	①	7 (3)	6 (6)	2 (1)	53 (33)

(注) 〇の数字は、兼務。()内の数字は、会計年度任用職員で内数。

【第21表】出演状況(月別及び行事区分別)

(令和5年度)

隊別		月別												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
音 楽 隊		4	7	21	12	10	26	25	25	11	4	5	5	155
カラーガード隊		4	7	19	12	6	26	22	23	9	3	3	3	137
消防関係 (自主防災 団体含む)	回数	1	1	2	0	0	5	2	2	1	2	2	1	19
	聴衆者数	200	220	250	0	0	628	450	750	200	900	460	909	4,967
市・区関係 (夢コンサート含む)	回数	1	2	16	9	3	15	14	12	7	2	2	1	84
	聴衆者数	3,000	352	2,903	4,326	345	2,278	2,523	2,086	1,395	370	12,351	30	31,959
そ の 他 (地域・団体等)	回数	2	4	3	3	7	6	9	11	3	0	1	3	52
	聴衆者数	700	18,500	2,100	1,350	15,492	1,200	1,500	1,710	1,850	0	10,000	800	55,202
合 計	回数	4	7	21	12	10	26	25	25	11	4	5	5	155
	聴衆者数	3,900	19,072	5,253	5,676	15,837	4,106	4,473	4,546	3,445	1,270	22,811	1,739	92,128

(単位：回数/人)

